

教育・研究などへの取組状況（令和7年度）

総合工学システム学 科	系・コース
	一般科目系
職階	氏名
教授	佐藤 修

項目	取組状況
教 育	<p>担当科目：基礎物理 1(4クラス)、物理学 A(1クラス)、物理学 B(1クラス)、応用物理Ⅱ(1クラス)</p> <p>基礎物理 1 については初期段階で科学的記数法、有効数字、三角比に関して十分に演習時間をとることで早期に習熟させるようにした。物理学 A では、予習プリントとそれに関する小テストをほぼ毎回行い、授業内容の定着をはかった。物理学 B では熱力学に馴染みのないコースが対象のため、テキストをよりかみ砕いた内容のスライドや資料を準備した。</p>
研 究	研究テーマ：微細超伝導体における磁束状態に関する研究
社会貢献	公開講座等は担当しなかったため特記事項なし。

<記入上の注意> ※可能な限り 1 ページ/年度にまとめてください。

教育：該当年度の担当科目，担当科目の取組状況（工夫・改善した点）などを記載。

研究：該当年度の研究テーマ，学外発表実績，外部資金獲得状況，共同研究などを記載

社会貢献：該当年度の公開授業，出前授業，学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況（令和6年度）

総合工学システム学 科	系・コース 一般科目系
職階	氏名
教授	佐藤 修

項目	取組状況
教 育	<p>担当科目：基礎物理 2(4 クラス)、基礎物理学(1 クラス)、応用物理Ⅱ(3 クラス)、統計熱力学(1 クラス)</p> <p>基礎物理 2 で扱う内容は多岐にわたるため、内容の区切り毎には演習問題を解く時間を多く取り入れて学習内容の理解を深めた。基礎物理学は高等学校からの編入生を対象とした科目である。本校低学年で行っている力学の内容を理解させるだけでなく、高専での学習内容とのギャップを埋めて今後の本校での学習を円滑に行えるように、微分積分や物理で頻出する微分方程式についても解説と演習を行った。統計熱力学の講義ではテキストを自作し、熱力学に馴染みのない学生にとっても無理なく学べるように工夫した。統計力学の考え方の導入については、分かりやすい離散的な状態から取り上げることにし、そこで状態の数え上げの方法を復習してから本題に入った。</p>
研 究	研究テーマ：微細超伝導体における磁束状態に関する研究
社会貢献	開講座等は担当しなかったため特記事項なし。

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育：該当年度の担当科目，担当科目の取組状況（工夫・改善した点）などを記載。

研究：該当年度の研究テーマ，学外発表実績，外部資金獲得状況，共同研究などを記載

社会貢献：該当年度の公開授業，出前授業，学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況（令和5年度）

総合工学システム学 科	系・コース 一般科目系
職階	氏名
教授	佐藤 修

項目	取組状況
教 育	<p>担当科目：基礎物理 1(4 クラス)、物理 3(3 クラス)、基礎物理学(1 クラス)、統計熱力学(1 クラス)</p> <p>基礎物理 1 については初期段階で科学的記数法、有効数字、三角比に関して十分に演習時間をとることで早期に習熟させるようにした。物理 3 で取り上げる波動現象については、多くの演示実験やシミュレーション動画による解説を取り入れ、更に学生実験も複数回行った。統計熱力学の講義ではテキストを自作し、熱力学に馴染みのない学生にとっても無理なく学べるように工夫した。統計力学の考え方の導入については、分かりやすい離散的な状態から取り上げることにし、そこで状態の数え上げの方法を復習してから本題に入った。</p>
研 究	研究テーマ：微細超伝導体における磁束状態に関する研究
社会貢献	開講座等は担当しなかったため特記事項なし。

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育：該当年度の担当科目，担当科目の取組状況（工夫・改善した点）などを記載。

研究：該当年度の研究テーマ，学外発表実績，外部資金獲得状況，共同研究などを記載

社会貢献：該当年度の公開授業，出前授業，学協会活動などを記載